

事務事業名	根本山いきものふれあいの里保全管理事業	担当	市民生活部 環境課（根本山）	
政策名	5 「環境づくり」～安全なまちアップ！～	施策名	4	自然環境の保護と地球温暖化対策の推進
成果指標	名称	単位	4 年度実績	
	区域内に生育する植物の種類	種	約700	
	区域内に生息する野鳥の種類	種	約80	
	区域内に生息するチョウ、トンボ、バッタの種類	種	約120	
事業概要	根本山自然観察センターを中心とする約22ha（うち市有地18.4ha）の区域は、平成元年に環境省の「根本山いきものふれあいの里」に認定され、市民の自然とのふれあいや環境学習の場として整備された。 里山の多様な生物が生息し観察ができるよう、森林や水辺、草地等の自然環境の保全管理を行う。			
4 年度実績・成果・課題	【実績】区域全体の下草刈り、遊歩道の定期的な草刈り、間伐・枯木伐採、雑木林等の落ち葉かき、ツツジ等の剪定、桜天狗巣病及び徒長枝除去等を計画的に実施した。下草刈り際には、希少な植物のほかヤマツツジ、ヤマハギ等も保護・育成を図った。 【成果】里山の多様な自然環境が保全され、様々な生物が生育、生息している。 【課題】観察林（雑木林）の老木化により植生が単純化しており、伐採による萌芽更新（若返り）が課題である。			
今後の方向性と具体策	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 ・観察林（雑木林）が若返り、生物多様性の高い自然環境になるよう、観察林の更新方法について検討します。			